

三愛友好交流協同組合

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>三愛友好交流協同組合は、企業様や個人事業主様への外国人人材の受入サポートをしています。適正な実習監理、職場の多文化共生に貢献することで日本国内の雇用に関する様々な問題解決をし、持続可能な社会の実現に尽力していきます。また、事業を通じて発展途上国等の経済発展を担う「人づくり」に貢献していきます。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	<p>経済 8 , 9 , 10</p>	<p>1 外国人職員の採用拡大・日本語教育の支援 2 実習生/特定技能生の相談窓口の樹立</p>	<p>1 外国人採用を2025年迄に8→20%へ 1 外国人職員への日本語検定の受験支援（年1回受験費用補助） 2 相談窓口として国ごとのFACEBOOKグループの設置を2025年迄に1→3カ国へ</p>
	<p>社会 1 , 4 , 11</p>	<p>1 外国人技能実習生の受入れ等が円滑に進むように組合員企業へのサポートを行う 2 受入企業へ地域との交流活動を促すことで、街づくりと外国人技能実習生の文化学習に寄与する</p>	<p>1 2030年迄に実習生3000人、特定技能3000人へ 2 活動促進の結果としての交流活動の報告会を1回/年実施</p>
<p>環境 13 , 15</p>	<p>1 消費電力抑制 2 書類のPDF等によるペーパーレス化 3 溶解処理による不要紙のリサイクル</p>	<p>1 2028年迄に事務所内完全LED化 1 エアコンは17：30定時までの使用 2 請求書はメールで送るなど極力電子データとし、紙の使用量を10%削減(毎年継続) 3 3か月毎に実施（毎年継続）</p>	